```
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
#include <math.h>
#define M 4 //ベクトル次元数
#define N 50 //サンプル数
#define NN 25//訓練サンプル数、又はテストサンプル数
#define 0 3 //クラス数
 #define P 0.333 //事前確率
/****プログラムの流れ****
1. 変数や配列の宣言と初期化
2. プログラムにデータを渡す
3. 訓練サンプルを用いて平均ベクトルの推定(式2.39)
4. 訓練サンプルを用いて共分散行列の推定(式2.40)
アーサハサケアの流行列レ行列ボの計算
7. 前 ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か ( ) か
 10 誤識別率を求める
 クラス0=setosa, クラス1=versic, クラス2=virgin
//1.0.変数,配列の宣言
                       double data_setosa[M][N];//各ファイルのinputデータを格納する配列
double data_versic[M][N];
                       double data_virgin[M][N];
                                                                                         //各クラスの平均ベクトル
//
//
                       double se_avector[M];
double ve_avector[M];
double vi_avector[M];
                       double setosa_CM[M][M];
double versic_CM[M][M];
                                                                                           //共分散行列用配列
                       double virgin_CM[M][M];
                       double setosa_CMI[M][M]; // 共分散逆行列用配列 double versic_CMI[M][M]; double virgin_CMI[M][M];
                       double training_setosa[M] [NN] ;
double training_versic[M] [NN] ;
double training_virgin[M] [NN] ;
                                                                                                                 //各クラスの訓練サンプルを格納する配列
                       double test_setosa[M][NN];
double test_versic[M][NN];
double test_virgin[M][NN];
                                                                                                                  //各クラスのテストサンプルを格納する配列
                       double d_setosa[NN];
double d_versic[NN];
double d_virgin[NN];
                                                                                                                 //テストサンプルと各クラスの距離用の配列
                                                                    //最小の距離を格納する配列
//誤識別率計算時の分子
                        int judge[3];
                        int child;
                       double min;
                                                                     //最小值
                        int num_b[6]=\{0\}, num_c[\overline{6}]=\{0\};
                                                                                                                 //誤識別サンプル番号格納配列
                                                                                                                  //num_c:versic用、num_b:virgin用
 //ここまで
  //1.1.配列初期化
 double Initialization() {
                       int j,k;
for(k=0;k<M;k++){
                                              for (j=0; j<N; j++) {
                                                                    data_setosa[k][j]=0;data_versic[k][j]=0;data_virgin[k][j]=0;
                                                                    se_avector[k]=0;ve_avector[k]=0;vi_avector[k]=0;
                       }
                       for (k=0; k<M; k++) {
                                              for (j=0; j<M; j++) {
                                                                    setosa_CM[k][j]=0:versic_CM[k][j]=0:virgin_CM[k][j]=0;
setosa_CMI[k][j]=0:versic_CMI[k][j]=0:virgin_CMI[k][j]=0:
                       }
                       for (k=0; k<M; k++) {
                                              for (j=0; j<NN; j++) {
                                                                     training_setosa[k][j]=0;training_versic[k][j]=0;training_virgin[k][j]=0;
                       }
```

```
for(j=0;j<0;j++){
    judge[j]=0;
        min=0;
        }
,
//ここまで
//2.0プログラムにデータを渡す
void file_input(char *filename, double d[M][N]){ //ファイル名, input配列
FILE *fp;
        int a=0, b=0;
        double temp=0.0;
        if((fp=fopen(filename,"r"))==NULL) {
    printf("ファイル:%sがありません",filename);
    exit(1);
        temp=0;
        fclose(fp);
}
//ここまで
//2.1訓練サンプル、テストサンプルをそれぞれ分割する
/* クラス50個のサンプルのうち、前半25個を訓練サンプル、後半25個をテストサンプルとする */
void holdout(double d[M][N], double k[M][NN], double t[M][NN]) {
        int i, j;
for (i=0; i<M; i++) {</pre>
                 for (j=0; j<N; j++)
                                 W){ // jが25よりも小さい時、すなわち前半25個までを、
k[i][j]=d[i][j]; // 訓練サンプル用配列に格納する
                         if(j < NN) {
                         else{
                                 t[i][j-NN]=d[i][j];
                                                          // 後半25個を訓練サンプル用配列に格納
        }
}
//ここまで
//3. 訓練サンプルを用いて平均ベクトルの推定 void cal_vector(double d[M][NN], double av[M]){ //引数説明: 各クラスの訓練データ, 平均ベクトル int_s,t;
        double sum_xi[M]={0.0};
for(t=0;t<M;t++){
                for (s=0;s<NN;s++) {
                         sum_xi[t]+=d[t][s];
                }
        for (t=0; t<M; t++) {
                 av[t]=sum_xi[t]/NN;
                                                  //25個の訓練データで平均ベクトルを求める
}
//ここまで
//4. 共刃取17月の推定
void cal_CovarianceM(double d[M][NN], double av[M], double output[M][M]) {
//引数説明: 各クラスのデータ,平均ベクトル,共分散出力配列
int j, k, l;
double sum[M][M]={0};
//4. 共分散行列の推定
        for (I=0; |<M; |++) {
                 for (k=0; k<M; k++) {
                         for (j=0; j<NN; j++) {
    sum[]][k]+=((d[]][j]-av[]])*(d[k][j]-av[]]);
                         output[I][k]=sum[I][k]/(NN-1); //25個の訓練データで共分散行列を求める
}
```

```
Holdout_1
//ここまで
//5.0. 共分散行列の逆行列の計算
void cal_inverse(double a[M][M], double output[M][M]) {//逆行列を求める行列,逆行列を格納する配列
         double temp=0;
double d[M][M]={0};
                                    //計算に用いる変数
//関数内で用いる行列用配列
//for文カウンター
         int i, j, k;
         for(j=0;j<M;j++){ //引数を関数内の変数に渡すfor(i=0;i<M;j++){ ______
                           d[j][i]=a[j][i];
          ,
//単位行列の生成
         for (j=0; j<M; j++) {
for (i=0; i<M; i++)
                           if(i!=j) output[j][i]=0.0;
else    output[j][j]=1.0;
         }
//掃き出し法
for(i=0;i<M:i++){
    temp=1.0/d[i][i];
    for(j=0;j<M:j++){
        d[i][j]*=temp:
        output[i][j]*=
                            output[i][j]*=temp;
                  }
for(j=0;j<M;j++){
    if(i!=j){
                           fil(!=J) {
    temp=d[j][i];
for(k=0:k<M:k++) {
    d[j][k]=d[j][k]-(d[i][k]*temp);
    output[j][k]=output[j][k]-(output[i][k]*temp);</pre>
                           }
                  }
         }
 //ここまで
double b[M][M]={0};
int n=M;
int i, j, k;
                                              //for文カウンター
         for (j=0; j<M; j++) \{
for (i=0; i\leq M; i++) \{
                                              //引数を関数内の変数に渡す
                           b[j][i]=a[j][i];
          ,
//三角行列を作成
         for (i=0; i<n; i++) {
                  buf=b[i][j]/b[i][i];
for(k=0;k<n;k++){
                                                       b[k][j] = (b[k][i]*buf);
                           }
                  }
          //対角部分の積
         for (i=0; i<n; i++) {
                  det*=b[i][i];
                                              //行列式の平方根を取る…①
         ans=pow(det, 0.5);
         //return (log(ans/P));
                                              //①を事前確率で割った値のlog値を返す
         return ( (log(ans) / 2) + log(3) );
                                                      //式 (2.42) を変形した数式でreturnする
}
//ここまで
```

//6.テストサンプルと各クラスとの距離を計算する
double cal_distance(double test[M], double av[M], double CM[M][M], double CMI[M][M], double d[NN], int a) {
 //引数の説明:テストサンプル, 平均ベクトル, 共分散行列, 共分散逆行列, 距離を格納する配列, 配列番号を指定する配列
 double temp[M]={0};
 double temp[M]={0};
 int j, k, l;
 for (j=0; j<M: j++) {
 temp[j]=0.5*(test[j]-av[j]); //テストサンプルから平均ベクトルを引いた値

```
Holdout 1
           for(k=0;k<M;k++){
                      for (j=0; j<M; j++) {
                                  temp1[k]+=(temp[j]*CMI[j][k]); //上記の値に共分散逆行列を掛ける
           for (j=0; j<M; j++) {
                                  d[a] += (temp1[j] *temp[j]);
           d[a]+=cal_Determinant(CM);
                                                                   //5.1の値を距離に加算する
,
//ここまで
//メイン関数
int main(void){
           (Notal) (
int a,b,i,k: //カウント用変数
double min=0; //最小値を格納する変数
int child=0; //誤識別率計算時の分母
int num_b[6]={0},num_c[6]={0}; //誤識別サンプル番号を格納する配列
           /*クラスsetosaの各テストサンプルについての誤識別*/
                      //関数の働きや引数の説明については各関数の説明を参照
                                                                                          //初期化
//各ファイルのインプット
           Initialization();
           file_input("iris setosa.txt", data_setosa);
file_input("iris versicolor.txt", data_versic);
file_input("iris virginica.txt", data_virgin);
           holdout (data_setosa, training_setosa, test_setosa);
           holdout(data_versic, training_versic, test_versic);
holdout(data_virgin, training_virgin, test_virgin);
                                                                     //setosaの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルを求める
r,setosa_CM): //共分散行列を求める
//逆共分散行列を求める
           cal vector (training setosa, se avector);
           cal_CovarianceM(training_setosa, se_avector, setosa_CM);
cal_inverse(setosa_CM, setosa_CMI);
           cal_vector(training_versic, ve_avector): //versicolorの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルを求めるcal_CovarianceM(training_versic, ve_avector, versic_CM); //共分散行列を求めるcal_inverse(versic_CM, versic_CMI); //逆共分散行列を求める
           cal_vector (training_virgin, vi_avector); //verginicaの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルを求めるcal_CovarianceM(training_virgin, vi_avector, virgin_CM); //共分散行列を求めるcal_inverse(virgin_CM, virgin_CMI); //逆共分散行列を求める
           for (k = 0; k < NN; k++)
                      double test[M]={0};
for (i=0; i<M; i++) {</pre>
                                                                                          //k番目のデータをテストサンプルとする
                                 test[i]=test_setosa[i][k];
                      }
                      // k番目のテストデータから、各クラスの距離を算出する
                      cal_distance(test, se_avector, setosa_CM, setosa_CMI, d_setosa, k);
cal_distance(test, ve_avector, versic_CM, versic_CMI, d_versic, k);
cal_distance(test, vi_avector, virgin_CM, virgin_CMI, d_virgin, k);
           for (b=0;b<NN;b++) {
                                                        //最小の距離を判定する
                      min=d_setosa[b];
if(d_versic[b]<min){
                                 min=d_versic[b];
                       if(d_virgin[b]<min){
                                 min=d_virgin[b];
                      }
                       if(min==d_setosa[b]) {
                                  judge[0]++;
                      if(min==d_virgin[b]){
    judge[2]++;
                      }
          】

//結果出力

printf("¥n----setosa----¥n");

printf("setosaと判定された数:%d¥n", judge[0]);

printf("versicと判定された数:%d¥n", judge[1]);
```

```
Holdout 1
                     printf("virginと判定された数:%d\n", judge[2]);
                           /*クラスversicolorの各テストサンプルについての誤識別*/
                     Initialization();//初期化
                     file_input("iris setosa.txt",data_setosa);
file_input("iris versicolor.txt",data_versic);
file_input("iris virginica.txt",data_virgin);
                                                                                                                                                                           //クラスsetosaのときと同じ計算手順
                     holdout (data_setosa, training_setosa, test_setosa);
                     holdout(data_versic, training_versic, test_versic); holdout(data_virgin, training_virgin, test_virgin);
                    cal_vector(training_setosa, se_avector); //setosaの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルを求めるcal_CovarianceM(training_setosa, se_avector, setosa_CM); //共分散行列, 逆共分散行列を求めるcal_inverse(setosa_CM, setosa_CMI);
                     cal_vector(training_versic, ve_avector); //versicolorの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルを求めるcal_CovarianceM(training_versic, ve_avector, versic_CM); //共分散行列, 逆共分散行列を求めるcal_inverse(versic_CM, versic_CMI);
                     cal_vector (training_virgin, vi_avector); //verginicaの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルを求めるcal_CovarianceM(training_virgin, vi_avector, virgin_CM); //共分散行列, 逆共分散行列を求めるcal_inverse(virgin_CM, virgin_CMI);
                     \begin{array}{ll} \text{for}\,(k = 0;\; k < \text{NN};\; k\text{++})\,\{ \\ \text{double test[M]=\{0\}}\,; \\ \text{for}\,(i\text{=}0;i\text{<}M;i\text{++})\,\} \end{array}
                                                               test[i]=test_versic[i][k];
                                                                                                                                                                           //k番目のデータをテストサンプルとする
                                           }
                                          cal_distance(test, se_avector, setosa_CM, setosa_CMI, d_setosa, k); //各クラスの距離を算出するcal_distance(test, ve_avector, versic_CM, versic_CMI, d_versic, k); cal_distance(test, vi_avector, virgin_CM, virgin_CMI, d_virgin, k);
                     a=0;
                     for (b=0;b<NN;b++) {
                                                                                                           //最小值判定
                                          min=d_setosa[b];
if(d_versic[b]<min){
                                                               min=d_versic[b];
                                            if(d_virgin[b]<min){
                                                               min=d_virgin[b];
                                           }
                                           if(min==d_setosa[b]) {
                                                                \overline{\text{judge}}[0]++;
                                           if(min==d_versic[b]){
                                                                judge[1]++;
                                            if(min==d_virgin[b]){
                                                                judge[2]++
                                                                child++;//誤識別した数
                                                               num_c[a]=b;
a++;//配列用カウンタ
                                           }
                      //出力
                    //四刀

printf("¥n--versicolor--¥n");

printf("setosaと判定された数:%d¥n", judge[0]);

printf("versicと判定された数:%d¥n", judge[1]);

printf("virginと判定された数:%d¥n", judge[2]);

printf("¥nvirginicaと誤識別されたテストサンプル番号及びベクトル成分¥n");
                     for (b=0;b<6;b++) {
		if (num_c[b]==0) {}
                                           elsel
printf("versicolor_number %d : \text{\footnotesize}, num_c[b]+1); // サンプル番号及びベクトル成分の表示 printf("% 1|f \text{\footnotesize}, 1|f \text{\footnotesize
                     }
                                          printf("\font Yn");
```

ページ(5)

//ここまで

/*クラスvirginicaの各テストサンプルについての誤識別*/

```
//itialization();
file_input("iris setosa.txt", data_setosa);
file_input("iris versicolor.txt", data_versic);
file_input("iris virginica.txt", data_virgin);
                                 holdout(data_setosa, training_setosa, test_setosa);
holdout(data_versic, training_versic, test_versic);
holdout(data_virgin, training_virgin, test_virgin);
                                 cal_vector(training_setosa, se_avector); //setosaの前半25個のデータを訓練サンプルとcal_CovarianceM(training_setosa, se_avector, setosa_CM); //共分散行列, 逆共分散行列を求めるcal_inverse(setosa_CM, setosa_CMI);
                                                                                                                                                                                                                                              //setosaの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトル
                                 cal_vector(training_versic, ve_avector); //versicolorの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルcal_CovarianceM(training_versic, ve_avector, versic_CM); //共分散行列, 逆共分散行列を求めるcal_inverse(versic_CM, versic_CMI);
                                 cal_vector(training_virgin, vi_avector); //verginicaの前半25個のデータを訓練サンプルとして平均ベクトルcal_CovarianceM(training_virgin, vi_avector, virgin_CM); //共分散行列, 逆共分散行列を求めるcal_inverse(virgin_CM, virgin_CMI);
                                  for (k = 0; k < NN; k++)
                                                                    double test[M]={0};
                                                                    for (i=0; i<M; i++)
                                                                                                     test[i]=test_virgin[i][k];
                                                                                                                                                                                                                                                                               //k番目のデータをテストサンプルとする
                                                                   cal_distance(test, se_avector, setosa_CM, setosa_CMI, d_setosa, k): //各クラスの距離を算出するcal_distance(test, ve_avector, versic_CM, versic_CMI, d_versic, k): cal_distance(test, vi_avector, virgin_CM, virgin_CMI, d_virgin, k):
                                 }
                                 for (b=0;b<NN;b++) {
                                                                                                                                                                          //最小值判定
                                                                   min=d_setosa[b];
                                                                    if(d_virgin[b]<min){
                                                                                                     min=d_virgin[b];
                                                                    }
                                                                    if(min==d_setosa[b]) {
                                                                                                      judge[0]++;
                                                                      if(min==d_versic[b]){
                                                                                                     judge[1]++;
num_b[a]=b;
child++;
                                                                                                                                                                           //誤識別した数
                                                                                                                                                                           //配列カウント
                                                                    }
                                 }
                                  //出力
                                //出刀
printf("\formall formall formal formall formall formall formall formall formall formall formal 
                                                                     if (num_b[b]==0) {}
                                                                    else{
printf("virginica_number %d : \text{\frac{\psi}{1}} +1); // サンプル番号及びベクトル成分の表示 printf("% 1|f \text{\frac{\psi}{1}} \text{\frac{\psi
                                 }
                                                                    printf("\forall n");
                                 printf("¥n全テストサンプル%d個中%d個 誤識別¥n", NN*0, child ); printf("誤識別率:%.3lf%¥n", (double) child*100/(NN*0));
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                //誤識別したサンプル数の出力
//誤識別率出力
 }
```

/ /			00	111	1. h	_
//	mai	n	阳	丕灯	XX.	1